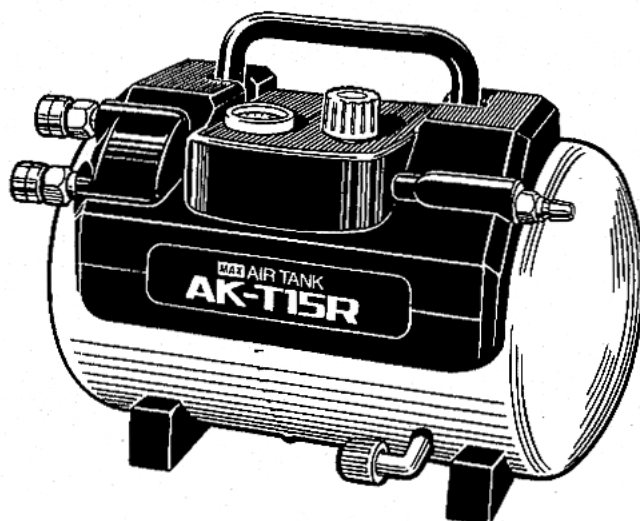


マックス エアタンク

AK-T15R

取扱説明書



⚠ 警告

- 使用前に必ず取扱説明書を読む。
- 本機の設置場所は硬く水平な所とする。不安定な場所では絶対に使用しない。
- 揮発性可燃物（ガソリン、シンナー等）のある場所では絶対に作動させない。
- 高温や直射日光が当たる場所で絶対に使用しない。
- 異常を感じたら絶対に使用しない。
- 本機にエアホースを接続する前に必ずホースとホース金具が完全に固定されていることを確認する。
- 移動時・作業終了時は必ずドレンコックをゆるめ、タンク内のドレンと圧縮空気を排出する。
- 改造及び衝撃を絶対に加えない。

- この取扱説明書は常時内容が確認できるよう保管してください。
- 本機の仕様は機能向上のため、予告なしに変更することがあります。

MAX®

このたびはマックスエアタンクをお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。本機のお取り扱いにあたって、この取扱説明書を最後までよくお読みください。使用上の注意事項、使用方法、能力などについて十分ご理解の上、安全に適切にご使用くださるようお願いいたします。

⚠ **警告**：この表示は、取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される場合を表しています。

⚠ **注意**：この表示は取扱いを誤った場合に、使用者が傷害を負う危険が想定される場合および物的損害のみの発生が想定される場合を表しています。

また、取扱いを誤った場合には、機械本来の性能を発揮しないばかりでなく本機の損傷につながる事が想定される場合を表しています。

現品の確認

●タンクが到着しましたら次の確認を行ってください。

①ご注文の製品かどうか。

②輸送による破損や部品の紛失がないかどうか。

※上記の点で不都合がありましたら、お買求めの販売店へご相談ください。

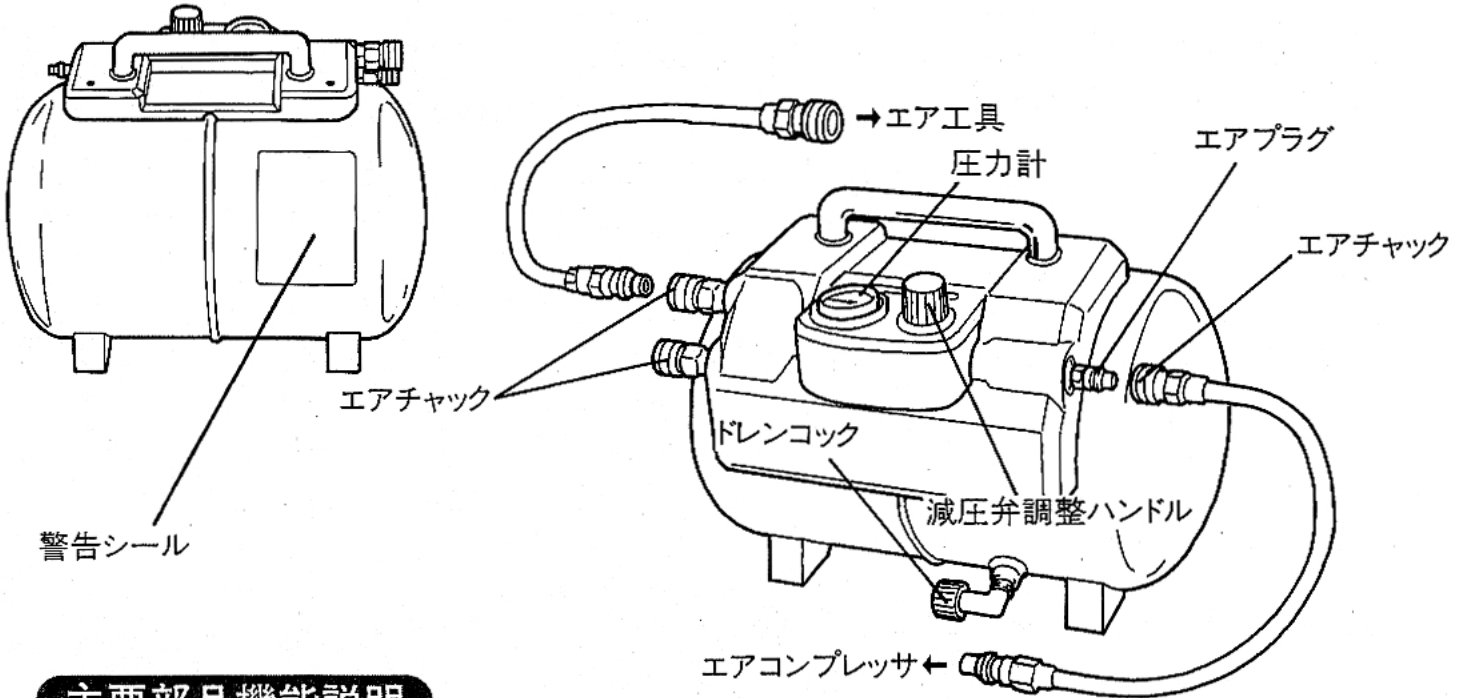
目 次

1. 各部の名称と接続システム参考例	1
2. 安全作業のために	2
3. 仕様及び付属品	8
4. コンプレッサとの接続方法	9
5. 使用方法	12
6. その他の留意点	14
7. 性能を維持するために	15

全国販売拠点、サービス拠点一覧

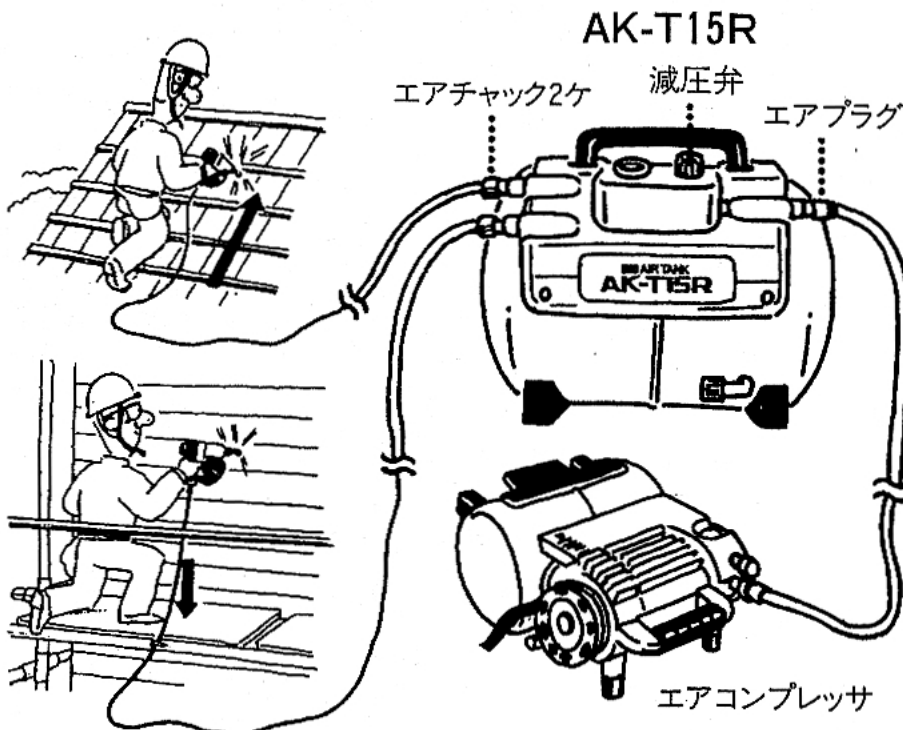
1

各部の名称と接続システム参考例



主要部品機能説明

- ①圧力計 使用圧力を確認します。
- ②減圧弁調整ハンドル 適正使用圧力に調整します。
- ③ドレンコック 一日一回以上、作業終了後に圧縮空気とドレン（水など）を抜きます。
- ④エアプラグ エア取り入れ口になります。
- ⑤エアチャック エア取り出し口になります。
- ⑥警告シール 使用時は必ず読むこと。



2

警告

安全作業のために

本機はエアコンプレッサのタンク容量を補助することを目的としたエアタンクです。指定以外の用途、使用方法は重大な事故につながる恐れがあります。この取扱説明書の記載事項を厳守してください。作業関係者以外、特に子供は作業場所に近づけないでください。また、本機に触らせないでください。

⑨文中の各部品設置箇所は1ページ「各部の名称と接続システム参考例」にて確認してください。

作業前

①作業環境に応じた防具等を必ず着用する。

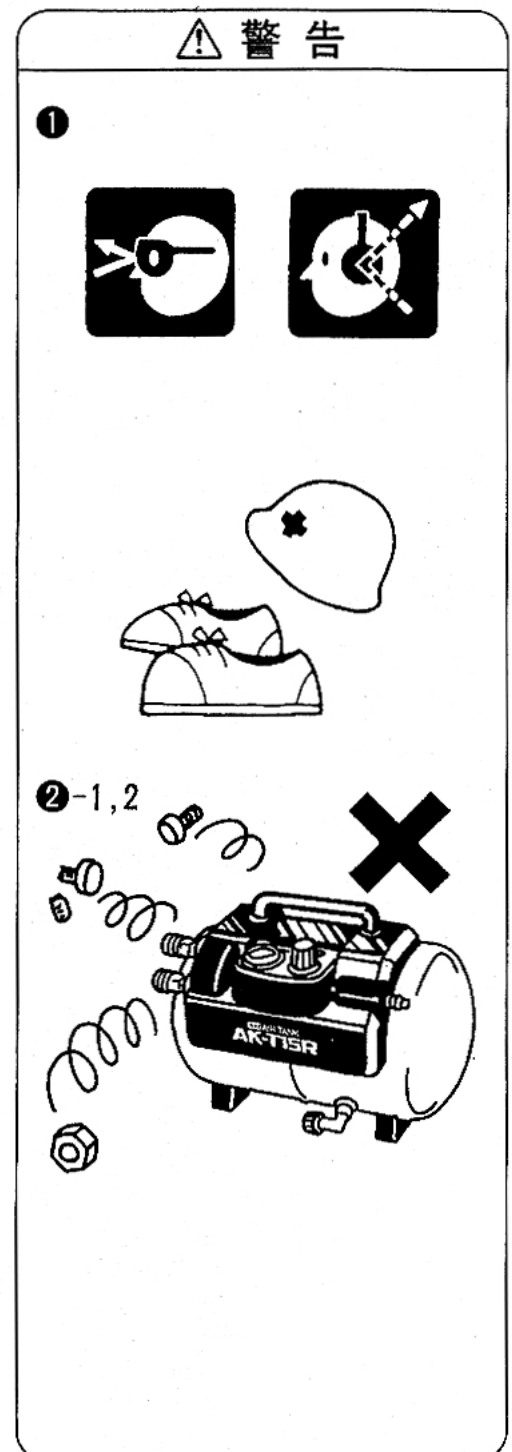
作業環境に応じて保護メガネ・防音保護具・安全帽・安全靴等の防具を着用してください。

②使用前に必ず点検する。

エアタンク内に圧縮空気を充填する前に次の点検を必ず行ってください。

1. ボルト・ナットやネジの締め付けが緩んでいたり、抜けていないか。
2. 各部品が外れていたり、傷んでいないか。

不完全なまま使うと、事故や破損の原因となります。異常のある場合は、お買い求めの販売店又はマックサービス㈱へ点検・修理に出してください。



③ 本機の設置場所に関する注意

1. 硬く水平な場所に必ず設置する。不安定な場所には絶対に設置しない。

移動や落下の危険性のある場所には絶対に設置しないでください。

2. 火気や燃えやすいもののそばには絶対に設置しない。

3. 高温や直射日光が当たる場所は避け、必ず風通しのよい日陰などに設置する。

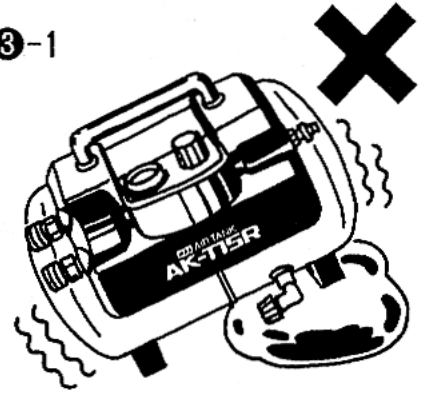
4. ゴミ（木クズなど）・ホコリの多い場所には絶対に設置しない。

5. 適正な設置方向に必ず設置する。

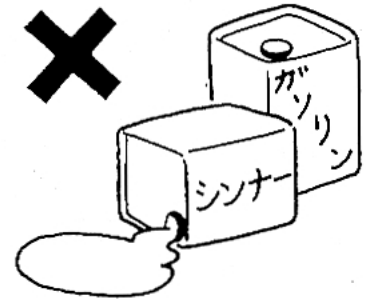
1. ページ「各部の名称と接続システム参考例」のイラストを参考に適正な設置をしてください。

⚠ 警告

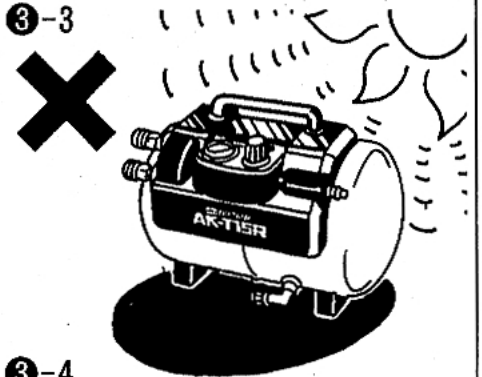
③-1



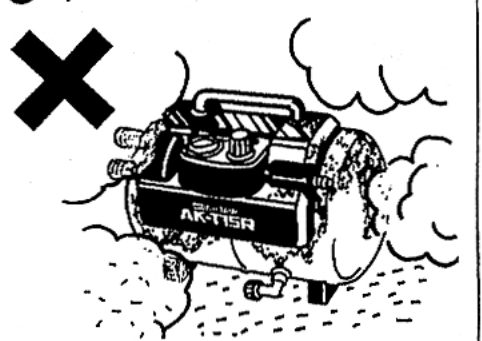
③-2



③-3



③-4



④本機にエアホースを接続する前に必ずエアホースとホース金具が完全に固定されていることを確認する。

⑤本機が正常に作動するか使用前に必ず点検・確認する。正常に作動しない場合は使用しない。

12ページの「運転前の点検・確認」に沿って点検してください。

※下記の場合には故障していますから本機を絶対に使用しないでください。

1. 本機内部で異音・エア漏れ音がする。
2. 減圧弁調整ハンドルを操作しても圧力計の表示圧力が変化（上昇・降下）しない。

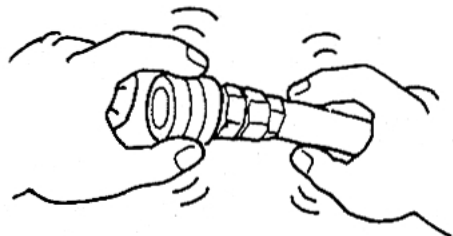
異常のある場合は、お買い求めの販売店又はマックスサービス㈱に点検・修理に出してください。

⑥大切に扱う。

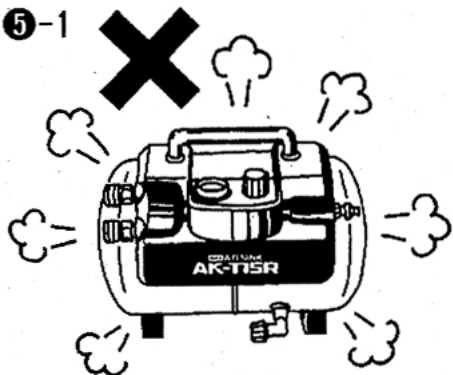
落としたり、ぶついたりすると故障の原因となります。

⚠ 警告

④



⑤-1



⑥

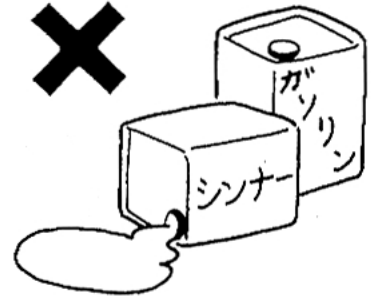


作業中

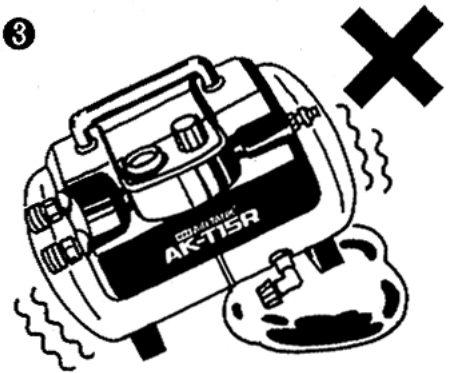
- ①揮発性可燃物のそばで絶対に使用しない。
ガソリン、シンナー、ガス、塗料、接着剤などのそばでの使用は、引火または爆発の恐れがあるので絶対にしないでください。
- ②火気や燃えやすいもののそばでは絶対に使用しない。
- ③不安定な場所では絶対に使用しない。
移動や落下の危険性のある場所では絶対に使用しないでください。
- ④高温や直射日光が当たる場所は避け、必ず風通しのよい日陰などで使用する。
- ⑤ゴミ(木クズなど)・ホコリの多い場所では絶対に使用しない。
- ⑥適正な設置方向で必ず使用する。
1ページ「各部の名称と接続システム参考例」のイラストを参考に適正な使用をしてください。

⚠ 警告

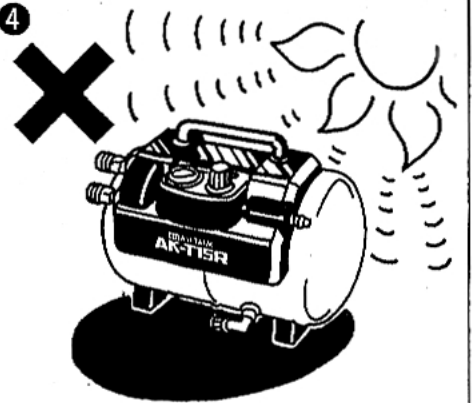
①②



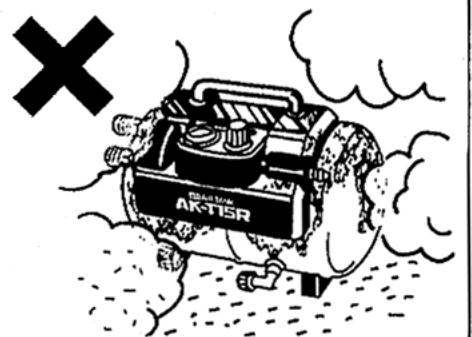
③



④



⑤



2

⚠ 警告

安全作業のために

⑦ 上面部に座ったり物をのせることは絶対にしない。

⑧ 異常を感じたら絶対に使用しない。

機械の調子が悪い時、異常に気づいた時は直ちに使用をやめ、点検・修理に出してください。

作業後

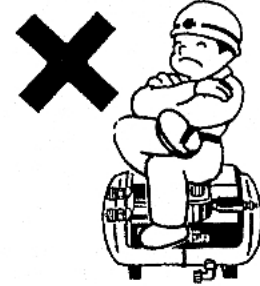
① 作業終了時には、必ずドレンコックをゆるめエアタンク内のドレン（水など）と圧縮空気を排出する。

② 本機を大切に手入れする。

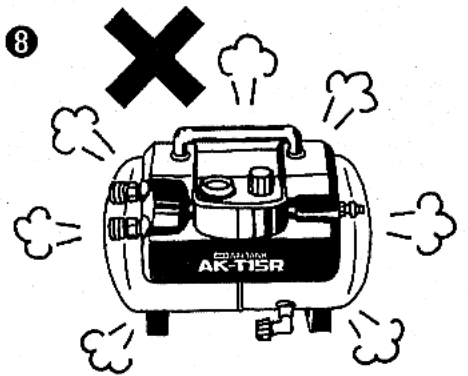
より安全に性能を発揮させるため、損傷のない最良の状態に保ってください。グリップ部は乾燥させ、清潔にし、油やグリースが付かないようにしてください。

⚠ 警告

⑦

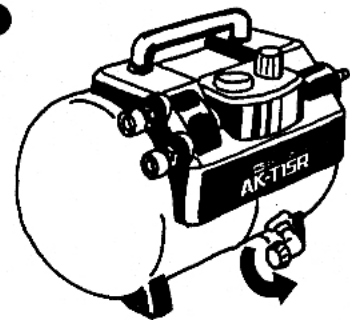


⑧



⚠ 警告

①



②



2

⚠ 警告

安全作業のために

③本機を絶対に分解しない。

万一故障した時は、点検・修理に出してください。

④本機に改造や衝撃を加えることは、絶対に行わない。

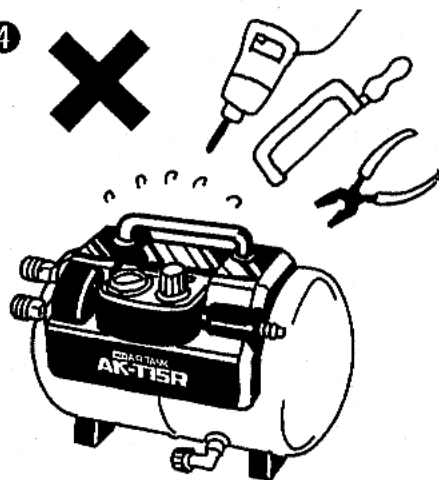
本機を改造したり、衝撃を加えると本来の性能が発揮できないばかりでなく安全性が損なわれますので絶対に行わないでください。

⚠ 警告

③



④



3

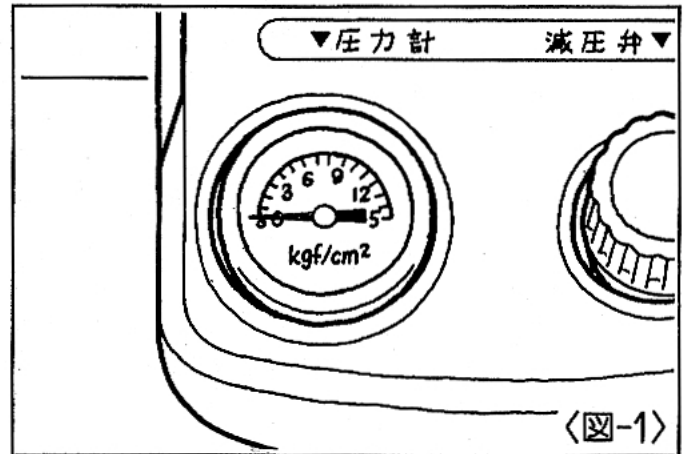
仕様及び付属品

項目	商品仕様
商品名	マックスエアタンク AK-T15R
商品記号	AK-T15R (ブルー・レッド)
寸法	高さ308×幅262×長さ400mm
重量	7.5kg
エアタンク容量	15ℓ
最高使用圧力	9.9kgf/cm ²
エア取出口	エアチャック 2カ所 (ねじ仕様R1/4:PT1/4)
エア取入口	逆止弁機構内蔵 (ナイロンボールタイプ)
付属品 (エアチャック)	エアチャック 1個 (コンプレッサ取付用) (ねじ仕様R1/4:PT1/4)

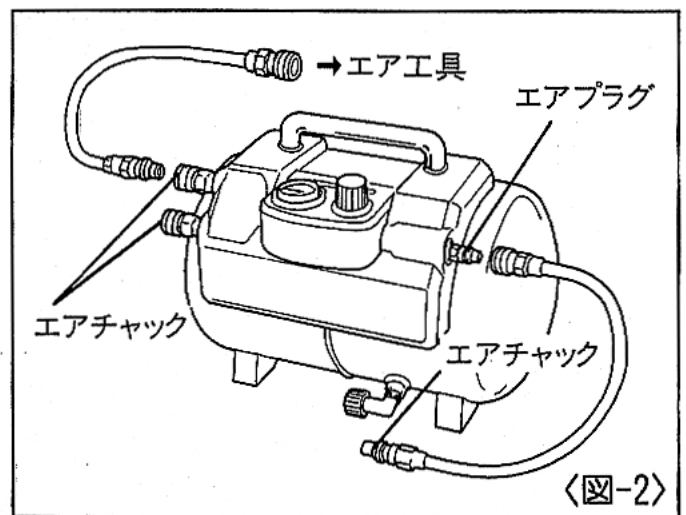
※本機とコンプレッサをつなぐエアホースは付属していません。

4 コンプレッサとの接続方法

- コンプレッサが停止しているかどうか、又、圧力計を見て、タンク内に空気がないかどうかを確認してください。〈図-1〉



- 右の図のように、エアホース（別売）を利用して本機のエアプラグ側を、コンプレッサと接続してください。〈図-2〉



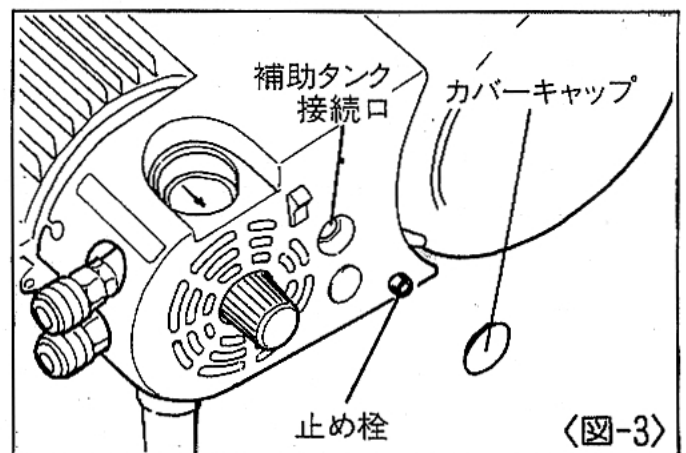
- タンクの2本のエアチャックは、エア工具との接続に使用し、コンプレッサとの接続には使用しないでください。

コンプレッサの補助タンク接続口を使用する場合

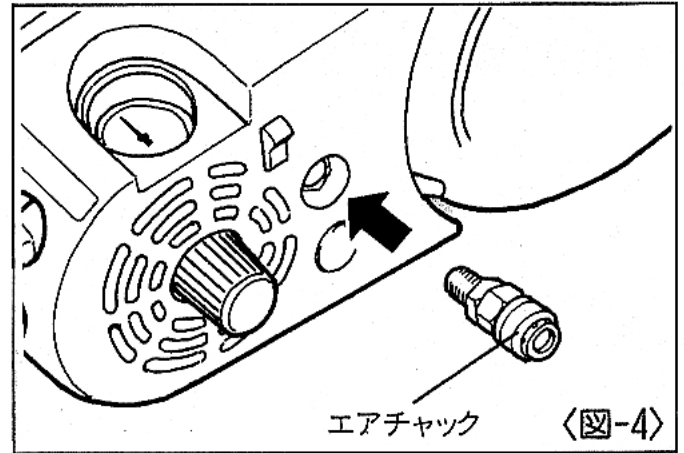
- ①コンプレッサの補助タンク接続口の止め栓をはずします。〈図-3〉

⚠ 警告

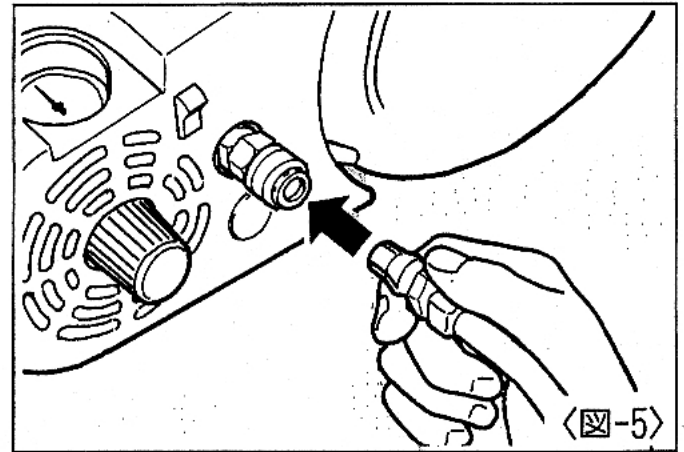
- エアタンク内の圧縮空気が全て排出されていることを必ず確認してから止め栓をはずす。



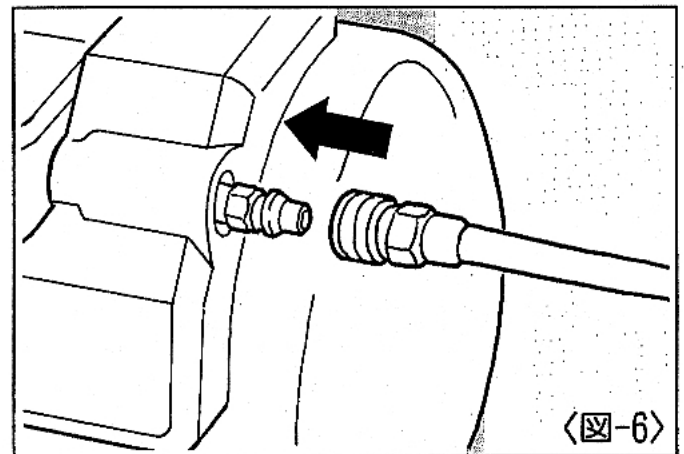
- ②本機付属品として同梱されているエアチャックを取り付けます。 <図-4>



- ③補助タンク内へ圧縮空気を供給するためのエアホースのエアプラグを、取り付けしたエアチャックに接続します。 <図-5>

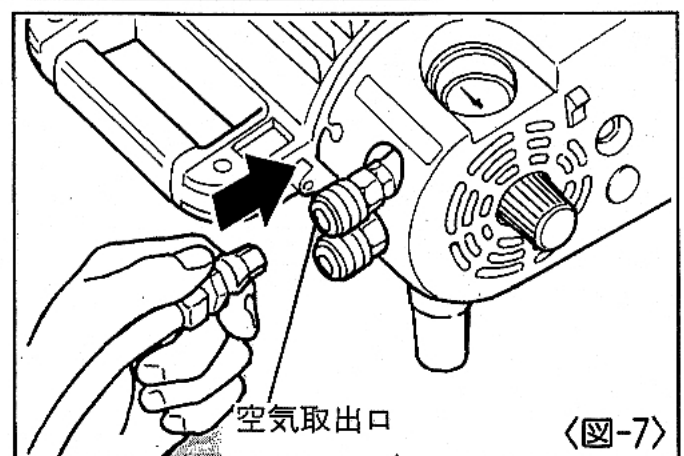


- ④取り付けしたエアホースのエアチャック側を、本機のエアプラグ(エア取り入れ口)に接続します。 <図-6>

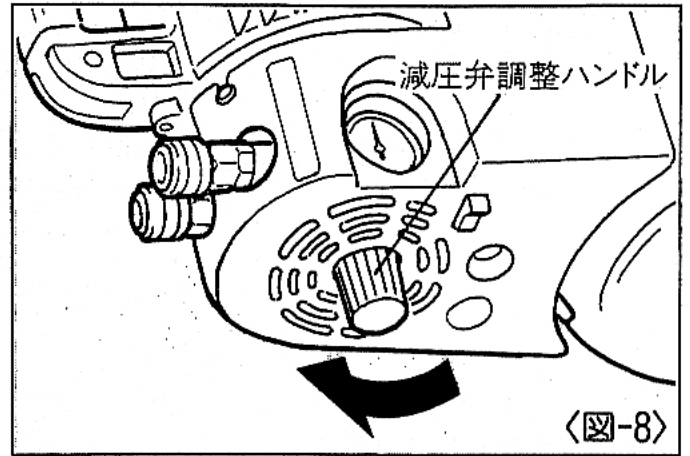


コンプレッサの空気取り出し口(減圧弁後)を使用する場合

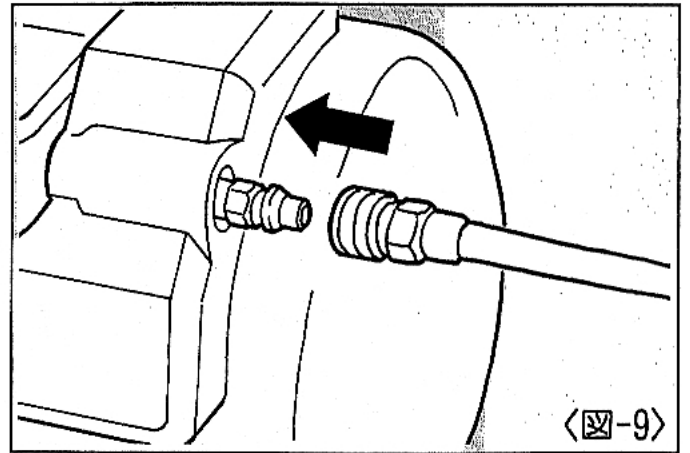
- ①本機タンク内へ圧縮空気を供給するためのエアホースのエアプラグを、コンプレッサの空気取り出し口エアチャックに接続します。 <図-7>



- ②コンプレッサの減圧弁調整ハンドルを右へいっぱい回してください。〈図-8〉
→本機タンク内には減圧弁より取り出せる最高圧力を充填します。



- ③取り付けたエアホースのエアチャック側を、本機のエアプラグ(エア取り入れ口)に接続します。〈図-9〉



5 使用方法

運転前の点検・確認

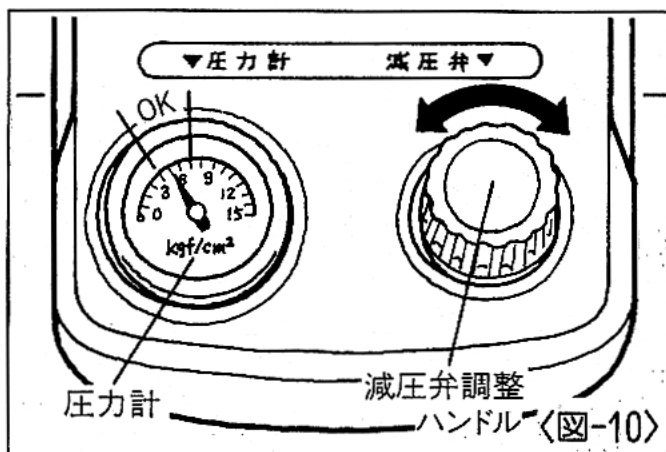
⚠ 警告

- 使用前にボルト・ナットやネジの緩み、各部部品の欠損がないか点検する。
- 適正な設置方向で必ず使用する。

※2ページの「安全作業のために」の通り正しく使用してください。

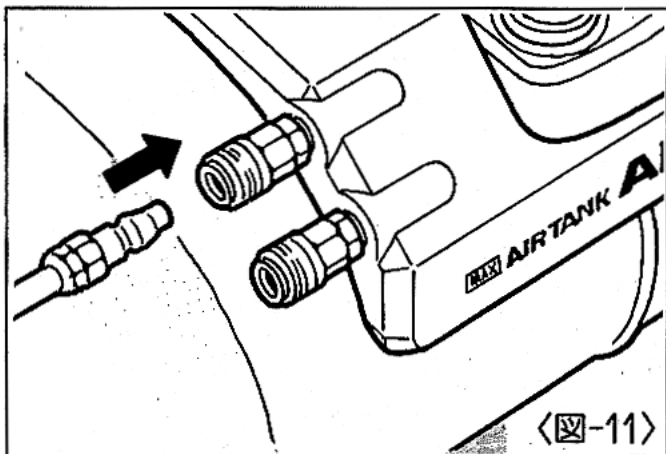
- ①接続が完了しましたら、コンプレッサの電源スイッチを入れて（ONにして）、本機タンク内に圧縮空気を充填してください。
- ②減圧弁調整ハンドルを回してエア工具の適正な使用圧力に調整してください。

〈図-10〉



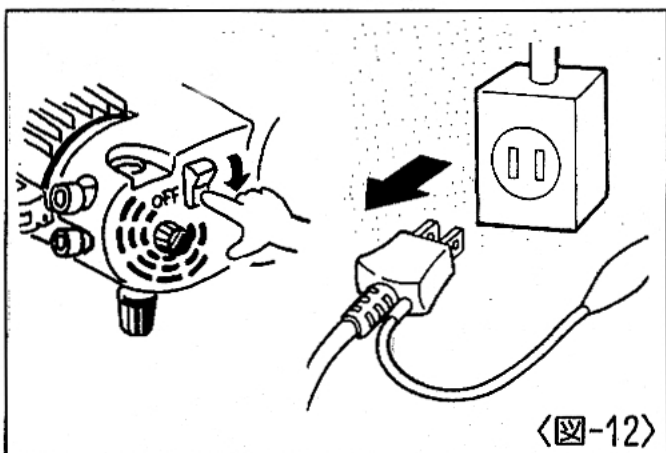
- ③本機のエアチャックにエアホースを接続し、エア工具を使用してください。

〈図-11〉



- ④作業が終わりましたら、コンプレッサの電源スイッチを切り（OFFにして）、電源コードのプラグをコンセントから抜きます。

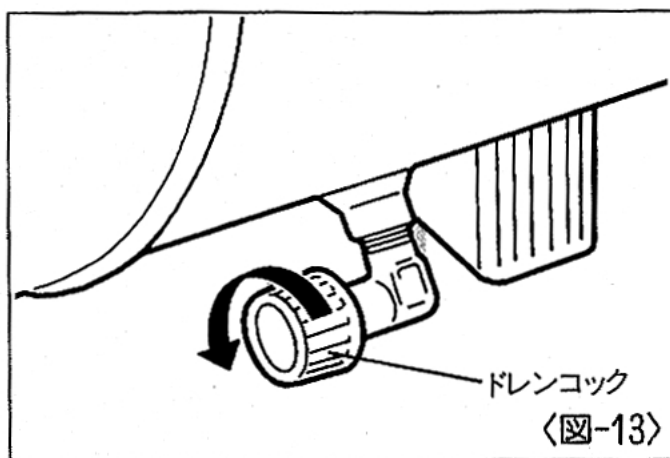
〈図-12〉



⑤本機とコンプレッサのドレンコックを開放し、タンク内の空気をドレン(水など)を完全に抜きます。 <図-13>

⑥本機とコンプレッサを接続しているエアホースを取りはずします。

(本機エアタンク内の圧縮空気を排出しないでエアホースを外すと、本機エアタンク内の圧縮空気は逆止弁の作用で一気に逆流はしませんが、徐々に抜けます。)



6 その他の留意点

- ① 本機を、風通しのよい日陰などに設置し、コンプレッサと本機の接続エアホースを長くすることで、エア工具内に流入するドレン（水）量を最小限に抑えることができます。（ドレンは、本機タンク内にたまりません。）

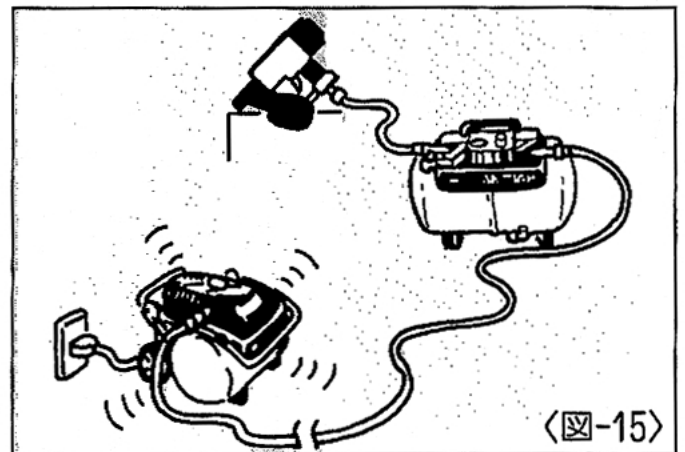
〈図-14〉



〈図-14〉

- ② コードリール使用によるコンプレッサの電圧降下トラブルを緩和させるためにコンプレッサを元電源で運転させ、接続エアホースを長くして（30m以内）使用することが可能です。

〈図-15〉

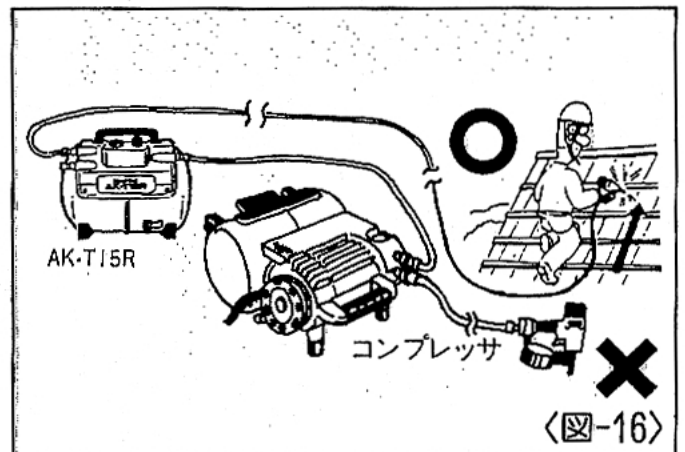


〈図-15〉

- ③ エア工具の使用は必ず本機のエアチャックに接続して使用してください。

- ※ コンプレッサ本体のエアチャックにエア工具を接続して使用した場合、本機タンク内に溜った圧縮空気が、本機に内蔵してある逆止弁の影響によりコンプレッサ側に流れにくくなっている関係で、本機的能力は著しく低下します。

〈図-16〉



〈図-16〉

7

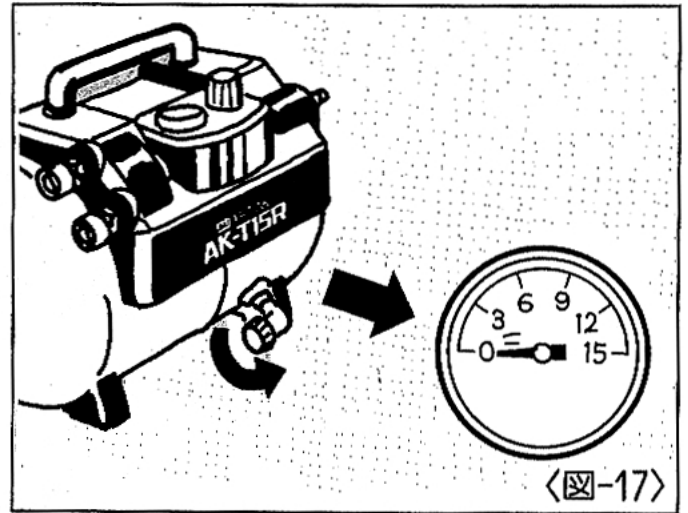
性能を維持するために

①本機の水抜きをする。

作業終了時はドレンコックを開放し、エアタンク内の圧縮空気とドレン（水）を圧力計の針が0を指すまで全部抜いてください。

〈図-17〉

※水抜きを行わないとエアタンク内に発生する錆が急速に進行し、故障の原因となります。



〈図-17〉

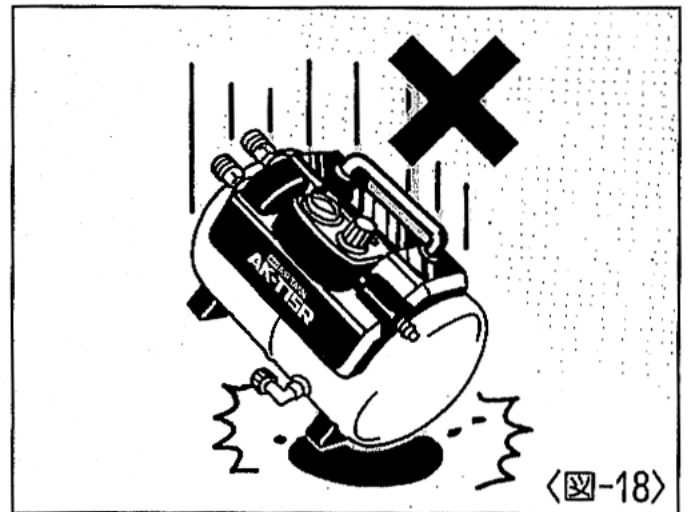
②定期的に点検する。

本機の性能を維持すめ為に清掃、点検を定期的に行ってください。点検はお買い求めの販売店又はマックスサービス㈱にお申しつけください。

③本機を大切に扱う。

落としたり、ぶついたり、叩いたりしますと、変形、亀裂や破損を生じる場合があります。危険ですから絶対に落としたり、ぶついたり、叩いたりしないでください。

〈図-18〉



〈図-18〉

④使用毎に必ず点検する。

2ページの「安全作業のために」の内容に沿って点検・確認を行ってください。

この取扱説明書は再生紙を使用しています。



本社・営業本部	〒103-8502	中央区日本橋箱崎町6-6	TEL(03)3669-8121代
東京支店	〒103-8502	中央区日本橋箱崎町6-6	TEL(03)3669-8118代
札幌店	〒060-0041	札幌市中央区大通東6-12-8	TEL(011)261-7141代
仙台店	〒984-0002	仙台市若林区卸町東2-1-29	TEL(022)236-4121代
名古屋支店	〒461-0025	名古屋市東区徳川1-11-23	TEL(052)935-8531代
大阪支店	〒553-0004	大阪市福島区玉川1-3-18	TEL(06)444-2031代
広島支店	〒733-0035	広島市西区南観音7-11-24	TEL(082)291-6331代
福岡支店	〒812-0006	福岡市博多区上牟田1-5-1	TEL(092)411-5416代
盛岡営業所	〒020-0824	盛岡市東安庭2-10-3	TEL(019)621-3541代
宇都宮営業所	〒321-0933	宇都宮市築瀬町2313	TEL(028)636-3012代
柏営業所	〒277-0871	柏市若柴297-12	TEL(0471)32-1500代
多摩営業所	〒190-0022	立川市錦町5-17-19	TEL(042)528-3051代
川崎営業所	〒213-0032	川崎市高津区久地597-1セブンエースト久地1F	TEL(044)844-4700代
浜松営業所	〒433-8117	浜松市高丘東2-22-15	TEL(053)439-3300代
岐阜営業所	〒501-6016	羽島郡岐南町徳田4-274	TEL(058)276-6551代
泉南営業所	〒596-0825	岸和田市土生町2-30-39	TEL(0724)36-2211代
神戸営業所	〒658-0081	神戸市東灘区田中町3-3-3	TEL(078)412-6220代
南九州営業所	〒891-0115	鹿児島市東開町3-24	TEL(099)269-5347代
新潟マックス(株)	〒955-0081	三条市東裏館2-14-28	TEL(0256)34-2112代
水戸マックス(株)	〒310-0043	水戸市松ヶ丘2-3-27	TEL(029)255-3761代
群馬マックス(株)	〒379-2215	佐波郡赤堀町大字今井543-2	TEL(0270)62-1123代
埼玉マックス(株)	〒331-0044	大宮市日進町3-421	TEL(048)651-5341代
千葉マックス(株)	〒284-0001	四街道市大日1870-1	TEL(043)422-7400代
横浜マックス(株)	〒241-0822	横浜市旭区さちが丘7-6	TEL(045)364-5661代
長野マックス(株)	〒399-0033	松本市笹賀8155	TEL(0263)26-4377代
長野営業所	〒381-2247	長野市青木島1-35-1	TEL(0262)85-6740代
静岡マックス(株)	〒422-8036	静岡市敷地1-3-26	TEL(054)237-6116代
金沢マックス(株)	〒921-8061	金沢市森戸2-15	TEL(076)240-1871代
富山営業所	〒930-0827	富山市上飯野字樋向割10-8	TEL(0764)52-0182代
福井営業所	〒918-8237	福井市和田東2-1711	TEL(0776)27-3378代
滋賀マックス(株)	〒612-8414	京都市伏見区竹田段ノ川原町9	TEL(075)645-5061代
兵庫マックス(株)	〒673-0404	三木市大村109-1	TEL(0794)83-2121代
岡山マックス(株)	〒700-0971	岡山市野田3-23-28	TEL(086)246-9516代
四国マックス(株)	〒761-8056	高松市上天神町761-3	TEL(087)866-5599代
徳島営業所	〒770-0866	徳島市末広1-4-25	TEL(0886)23-0286代
松山営業所	〒790-0951	松山市天山町28-1	TEL(089)913-0608代
マックスサービス(株)本社	〒330-0038	埼玉県大宮市宮原町2-99-5	TEL(048)667-6448代
マックスサービス(株)大阪	〒553-0004	大阪市福島区玉川1-3-18	TEL(06)446-0815代
マックスサービス(株)名古屋	〒461-0025	名古屋市東区徳川1-11-23	TEL(052)935-8210代
マックスサービス(株)福岡	〒812-0006	福岡市博多区上牟田1-5-1	TEL(092)451-6430代
マックスサービス(株)広島	〒733-0035	広島市西区南観音7-11-24	TEL(082)291-5670代
マックスサービス(株)仙台	〒984-0002	仙台市若林区卸町東2-1-29	TEL(022)237-0778代
マックスサービス(株)札幌	〒060-0041	札幌市中央区大通東6-12-8	TEL(011)231-6487代

●マックスお客様ご相談ダイヤル(無料) 0120-22-8358
月～金曜日 午前9時～午後6時

●住所、電話番号などは都合により変更になる場合があります。